

精華町立中学校における学校給食の実施に向けての意見(要約)

意見1

- ・子供により個々別々で体育係や文化係や遊び会係により食料の多、少はだれが判断するのか？
- ・町議会選挙で多くの候補者が給食を訴えていたが、町民の思いであるのか、又精華町全41自治会で温度差があることを知っているか？
- ・少子化といわれる中で建設設備や人を入れ財政に問題がないか、後の管理等収支をどう考えているか？
- ・もう一度民意を求める懇談会を開き、多くの意見を聞けばと思う。
- ・今後10年、20年で中学校給食を始め全人口の何%が恩恵を受けるのか？予想統計で知らせてほしい。
- ・共働きだけを推進するなら、その予算を高齢者や身障者に向けてほしい。

意見2

- ・我が家の子ども達は弁当の方がよいと言っており、また中学生は体格等にも個人差がでてくるため、私自身は給食の必要性はあまり感じない。しかし、家庭によっては、給食の方がよいという意見もたくさんあると思う。
- ・学校での勉強を充実させるには、空調設備設置を早急にしてほしい。

意見3

- ・空調設備設置をし、学習環境を整えた後、給食実施という方向でもよいのでは。

意見4

- ・子どもたちは、小学校で食べている温かい給食が大好きなので、センター方式には反対する。

意見5

- ・空調の方を先にすべき事ではないか。
- ・給食のために出てくるデメリット、クラブ、昼休み、先生方の負担増などの問題をきっちりして頂きたい。

意見6

- ・給食実施の目標としている年度を教えてほしい。
- ・3校同時開始でないといけないのか。
- ・センター方式について再検討できないか。

意見7

- ・中学校での学校給食実施には反対。(以下反対理由)

担任の負担が非常に大きい。

給食の食べ残しの現状を掌握しにくくなる。

生徒間でからかひやいじめの要因になる。

力関係で当番等を他人に押し付ける。

昼食時間が長くなり、クラブ活動、委員会活動に支障が出る。

- ・実施にあたり以下のことを強く要望。(以下要望事項)

先生方の要求を充分汲み取ってほしい。

配食時に外部から手伝いに入られる方の人数を十分に確保してほしい。

中学校の設備にも配慮してほしい。

食材は地元のを優先的に使用してほしい。

意見 8

- ・精華中学校の建て替えを待って、跡地に建てるという事にメリットを感じられないため、センター方式と結論が出ていることに疑問を感じる。
- ・自校方式、親子方式の方が財政的に費用がかからず済むのでは。

意見 9

- ・精華中学校にセンターを設置すると搬入口の位置によっては、隣の幼稚園の登降園時の安全面が心配。
- ・給食実施を急ぐよりも空調設備を急ぐべきでは。
- ・今でも昼食時間は短いようなので、子どもと教職員の負担増が心配。
- ・給食実施し、給食費の滞納があったら児童手当から天引きしてはどうか。

意見 10

- ・給食になると配膳時間にどの時間を削るのか。
- ・クーラー設置をお願いしたい。
- ・食物アレルギーの子どもの対応も考えてほしい。
- ・給食費を払わない家庭に対する対応も考えてほしい。

意見 11

- ・給食にすることによる授業、クラブ活動等の時間配分が気になるが、異常気象の中のお弁当の保管や栄養バランスの事も考えると給食も必要。
- ・食欲、学習欲が出せる環境作りも考えてほしい。

意見 12

- ・弁当は親子のコミュニケーションのひとつであると思うので、給食の必要性を感じない。
- ・給食の実施を急ぐよりも、まずは昼食時間をあと 5 分でも 10 分でも延ばしてほしい。

- ・空調設備を優先してほしい。
- ・他の課題等を解決してからおいしい給食を実施してほしい。

意見 1 3

- ・給食は地産地消、友人たちとの共食、配膳等、子どもたちも学ぶことがたくさんある。
- ・弁当の日を実施することで、弁当、給食のありがたさがわかるのでは。
- ・早期、給食導入を要望する。

意見 1 4

- ・今の小学校のような給食が中学校にもあってほしい。
- ・できるだけ早期の実現を望む。

意見 1 5

- ・今必要な論議の煮詰めは、センター方式か自校方式かである。
- ・実施時期をいつにするかについては、できるところから1年でも早く実施するのか、全町一斉の公平な実施のどちらかである。

意見 1 6

- ・家庭間での格差が広がることが予想されるので、学校給食により平等においしく温かい食事の提供をしてほしい。

意見 1 7

- ・食物アレルギーの子どもをもつ親としては現行のお弁当で良かった。
- ・アレルギーの子どもの対応をしっかりと考えてほしい。
- ・クーラーの設置を早急に望む。

意見 1 8

- ・学校給食を実施することにより、栄養のバランスの良い食を通じて、成長期における健全な体を育成できる環境ができることは、今後の少子化対策としても良いことだと思う。
- ・給食も大切であるが、健康に関しては空調設置も重要であるため、空調設備の設置を早急に対応してほしい。

意見 1 9

- ・給食の実施より、子供達の勉強をしやすくする環境、たとえばエアコンをつけてもらうことを優先してほしい。

意見 2 0

- ・施設内に、一般食とは別に調理が行えるように、アレルギー対応調理室設置し、アレルギー除去対応食を提供してほしい。
- ・該当者や栄養士の先生方だけでなく、クラスの生徒達や、担任の先生にも一目で分かりやすく、ダブルチェック、トリプルチェックしやすく、誤配の心配も軽減するようなメニュー成分表（絵で表記するようなもの）を提案する。
- ・アレルギーに対する正しい知識を持ち、相互理解を深め、消防や病院との連携や、協力もいただける体制作りを一日も早く確立してほしい。

意見 2 1

- ・アレルギーに対する対応（除去食等）が実施されないのであれば、給食実施に対して全力で反対する。
- ・アレルギー対応を実施する際にも、全ての問題・可能性をクリアできてから実施すべきと考える。

意見 2 2

- ・中学校における給食実施に反対する。
- ・中学校では給食実施によるデメリットの方が多いのではないか。
- ・業者のお弁当の注文をとる、あるいは、お弁当おきの冷蔵庫を用意するといった対応が妥当ではないか。

意見 2 3

- ・食育の推進=給食という構図がとても残念。
- ・子どもが望んでいない給食を大人の都合、国で決まったからと押し付けているのではないか。
- ・より良い給食についてはまず、給食費の試算、予定はいくらなのか明示してほしい。
- ・地産地消に拘るなら先ずは農業の育成が先であり、安定供給が見込めて初めて給食実施がよいのではないか。
- ・エアコン導入を優先させることは当然であると思う。

意見 2 4

- ・「3 中学校同時に実施」を掲げているから事がなかなか進まない。できるところからできる範囲で進めていただきたい。

意見 2 5

- ・揺れ動く中学時代の反抗する子どもとも、弁当を作り、持っていく、食べることで、親子の間にはエピソードが生まれ、子どもは親の無言の支えをいくつかり、親の心も育つように思う。
- ・給食を実施するならば、できる学校から順番にということではなく、食育を軸に据えて、一斉に始められる時期まで十分に準備されるべきではないか。

- ・先にエアコン導入も考えるべきではないか。

意見 26

- ・中学校給食が一日も早く実施されることを願っている。
- ・早急にもっと低コストで給食実施できる方法が他にないのか十分な検討を望む。

意見 27

- ・エアコンの設置を優先してほしい。
- ・配膳にかかる時間等を考えると、カフェテリア方式または、ランチバック（弁当箱）方式にしないと実現しないのでは。
- ・現場の先生方に過度な負担がいかないように検討してほしい。
- ・現在のお弁当の注文をもう少し広げるような形（月に10～15日分は、好きな日に弁当を注文する）にしてはどうか。
- ・給食を導入するのであれば、まずは精華西中学校から精華中学校への校区編成の見直しをしてはどうか。
- ・実現しにくいところが後回しになり、そのまま何年も放置されてはいけないので、3校同時に給食導入をお願いしたい。

意見 28

- ・給食実施を方針として打ち出された町政の姿勢は素晴らしいと思う。
- ・選択制お弁当方式でも「給食」として、学校給食の実施基準にのっとったものを提供するならば、保護者の信頼感や安心感を背景に、利用率はまずまず確保できると考える。
- ・食のあり方懇談会では、検討材料として集められた情報や討議された内容については十分ではない部分も見受けられる。
- ・自校方式については、精華西中学校において、設計の仕方により別の方法もある可能性が、懇談会では討議されていないのではないか。
- ・親子方式については、改修が必要であるとして、十分に検討がされていない
- ・センター方式は、給食センターを建設するのであれば、それなりに適した立地や用地を検討してはどうか。
- ・デリバリー方式に関しては、メリットがあまり示されていないほか、食缶方式によるデリバリー方式が検討されていない。
- ・センター方式を採用するのであれば、学校給食のみを供給先とするのではなく、他の世代への供給、あるいは、近隣の自治体の学校への供給も検討できないか。
- ・給食への地元食材提供は、地元産食材の提供率などを町内外に示すなど、実施率を高めていく工夫をしてはどうか。
- ・地産地消の町をアピールする方法はたくさんあると思う。
- ・給食設備を整備することは、災害時の対応設備としての役割を果たすことができると思う。

- ・アレルギー対応について、小学校や保育所での対応策も含めて、今一度自治体としての姿勢を検討されることを願います。
- ・具体的に給食でアレルギー対応をどうするかについて検討してほしい。
- ・基本方針に基づく給食の実施に向けた移行措置として、現実的な方法での給食実施の検討を望む。

意見 29

- ・実施年度の未定のセンター方式には反対する。
- ・町内統一こそが最優先課題とするのは、地域差に対して住民不満が上がることを懸念したためではないか。
- ・早期に完全給食を実施してほしい。
- ・三校のうち、一校でも、二校でも、理想に近い給食を低コストで早期に実現してほしい。(以下方法の提案)

◎精華中学校

平成27年度建て替えに伴い調理室を設置し、自校方式の給食を実施する。

○精華南中学校

山田荘小学校の余剰能力を利用し、親子方式の給食を早急に実施する。

●精華西中学校

《A案》東光小学校の給食室ドライ化に伴い、西中をカバーできる調理施設とし、親子方式を実施する。

《B案》学校の駐車場、またはテニスコートの上に調理室を建設する。1階はこれまで通りに使用し、2階を料理室にする。

- ・給食を実施する場合、献立は原則栄養教諭が決定する。
- ・アレルギー対応について、町内の保育所などで実施している例を参考に、中学校給食もできるだけ多くのアレルギーに対応し、お弁当持参の生徒ゼロを目指し、実施に際しては、決して事故などのないよう、教職員も含む関係者全員の指導を徹底する。
- ・アナフラキシーショックに対しては、日頃よりエピペンの使用承諾を保護者にいただき、手遅れにならないよう予防策を講じる。
- ・食育指導について、栄養教諭を各校に最低1名配置する。
- ・給食を幅広く生きた学習の機会として活用する。
- ・給食では、日によって場所や仲間を変えて食べることができ、多くの交流ができるような場所を提供する。
- ・給食時間をマナー向上や人格形成の場としても最大限に活用できる機会とする。
- ・給食で町内の生産物を食材として使用することで、生徒が町を知るだけでなく、農業の再興などの相乗効果を狙う。
- ・給食は保温効果の高い食缶やワゴンを取り入れ、冷たいものは保冷剤を活用するなどし、メニューに適した温度でおいしさを保ち、衛生管理を行う。

- ・給食は自分でよそい、残食は自分で指定場所に持っていくなど、残食を減らす工夫を取り入れる。
- ・配膳から片付けまでの時間を短縮し、ゆとりある食事とカリキュラムを保つため、リフトを増設し、大型ワゴン折りたたみ式の配膳台などを活用する。
- ・給食未経験の教職員は小学校などであらかじめ体験し指導を受ける。
- ・必要に応じて、給食補助員を配置する。
- ・給食費未納問題対策として、それぞれの保護者のメインバンクやそれに順ずる銀行が給食費の引き落とし口座になるよう銀行の選択肢を増やす。
- ・給食実施の際には、内容さえ伴えば民間の参入も反対ではない。
- ・パートタイマーを有効に採用し、低コストを目指す。
- ・半日であっても登校日は全て給食を実施する方向性も検討する。
- ・中学生とその保護者のために、一日も早く安全で栄養バランスのとれた温かい給食を実施してほしい。
- ・完全給食実施までの間、暫定的に斡旋弁当の改善、購買部の増設、近隣の弁当業者との連携を行うなど現状を改善できる策を講じてほしい。

意見 3 0

- ・「報告書」にもあるように、小中一貫した食育を推進するため、また各校の特色や実態、学校行事との調整等を鑑みたならば、「自校方式」を採用するメリットの方が圧倒的に大きいことは明白であると思う。
- ・自校方式の課題として、西中の建設用地確保と建設費用の問題が挙げられているが、最低限必要な用地面積を敷地内に確保する可能性は皆無であるのか今一度、図面で示してほしい。
- ・災害時における食糧対応について、もしセンター方式であれば、その場所が被災すれば全ての機能を失ってしまうが、自校方式であれば分散しているため、被災を免れた設備は稼働することができると思う。

意見 3 1

- ・自治体がサービスで施してやるという立場でなく、次代を担う子どもたちの心身向上のために栄養の有るバランスのいい給食を是非行政は提供すべきと考える。
- ・食育、食の安全、栄養といった観点からも地元生産の食材を使った給食にしてほしい。
- ・中学校給食実施に向けて自治体に取り組むのであれば、財政面だけで云々するのではなく、また配達弁当か、家庭弁当かの複数選択制にするのではなく、各中学校が調理館を持ち、そこで作られた給食を次代を担う子どもたちに提供してほしい。